



# 大阪医科薬科大学病院 総合診療専門研修プログラム 家庭医療専門研修プログラム



皆さん、こんにちは！総合診療科長の鈴木です。



症例をもとに若き研修医たちが病名をさぐるNHK総合テレビ「ドクターG」に出演。

また、全国の病院では、1つ1つの症例をじっくり深めていく、出張カンファレンス（症例検討会）が好評を博している。

「Dr. 鈴木の13カ条の原則で不明熱に絶対強くなる」（羊土社）を2015年4月に発行。



日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医

日本専門医機構認定 総合診療専門研修指導医

## 鈴木 富雄（すすき とみお）

大阪医科薬科大学 医学部総合診療医学教室  
地域総合医療科学寄附講座 教授  
大阪医科薬科大学病院 総合診療科 科長

### 【略歴】

名古屋大学医学部卒業。  
名古屋大学医学部附属病院総合診療科を経て、  
2014年9月より、大阪医科大学（現大阪医科薬科大学）地域総合医療科学寄附講座特任教授、大阪医科大学附属病院（現大阪医科薬科大学病院）総合診療科科長。  
2024年 総合診療医学教室教授。

みなさんこんにちは。大阪医科薬科大学病院総合診療科科長で本プログラム責任者の鈴木富雄です。

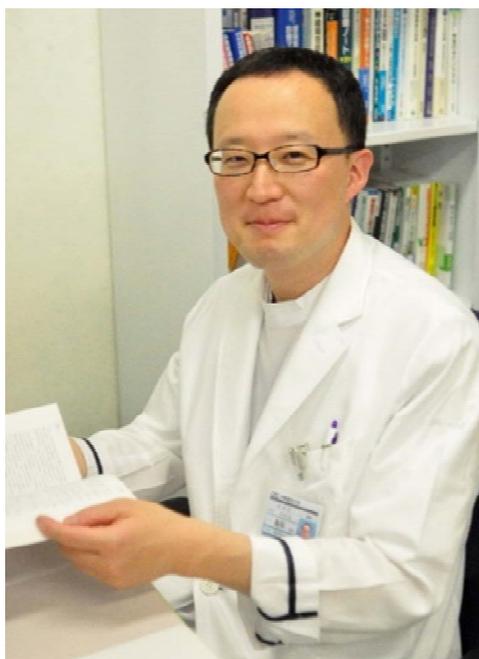
大阪医科大学は2021年4月に大阪薬科大学と統合して大阪医科薬科大学となり、本プログラム名も「大阪医科大学附属病院総合診療専門研修プログラム」から「大阪医科薬科大学病院 総合診療専門研修プログラム」に変わりました。

当プログラムでは現在、卒後3～6年目の専攻医12名、大学院生3名が在籍し、日夜診療、教育、研究に励んでいます。家庭医として開業を考えている者、病院総合医としての研鑽を積みたい者、卒前教育や卒後教育に関心の高い者、感染症診療分野で活躍したい者、彼らが希望する将来像は実に様々ですが、皆に共通しているのは、常にどんな時でも目の前の患者に対して真摯に対応できる「あなたの専門家」でありたいという強い思いです。彼らの学びに対する意識は貪欲であり、日々の診療を通じての成長は目覚ましいものがありますが、雰囲気は極めて和やかで、和気あいあいと毎日の研修に励んでいます。

皆さんも私たちと一緒に、自分自身の未来への輝かしいキャリアと日本における総合診療の新たな歴史を創っていきませんか？よろしければまずは是非一度、気軽に見学にお越しください。

教授室でたくさんのお菓子と素敵な秘書がお待ちしております。

# STAFF



島田 史生 (しまだ ひろみお)

大阪医科薬科大学 医学部総合診療医学教室 助教  
地域総合医療科学寄附講座  
大阪医科薬科大学病院 総合診療科 筆頭医長

日本専門医機構認定 総合診療専門研修指導医

日本内科学会認定 総合内科専門医

日本神経学会認定 神経内科専門医

私は大学を卒業して市中の病院で研修を行い、その後総合診療医の道を進むべく千葉大学医学部附属病院総合診療科にて診断推論を中心に研鑽を積み、2017年4月に本学へ赴任しました。ドクターGこと鈴木教授を筆頭に、熱意溢れる指導医の方々や個性豊かな当科レジデント達、さらに卓越したサポート力を発揮する秘書さん達と、日々の診療や当科をローテーションされる研修医や学生さんへの教育、研究に従事しています。大学外での活動としては昨年までの4年間、高知県本山町への短期間出向を通じて当講座の主たる任務の一つである地域医療への貢献にも携わってきました。

当科で診療する患者さん達はbio-psycho-socialの各領域で複雑な問題を抱えた方が多く、まさに総合的な視点が必要な人たちがばかりであり、そのような環境の中でレジデントの先生達と共に時に悩みや疑問にぶつかりながらも日々診療に当たっています。

私達の研修プログラムは診療所から地域の中核医療機関、更には大学病院という高次機能病院まで多様な医療現場で研修を送ることが可能であり、レジデント一人ひとりのニーズや状況にも応じて多様な研修環境・キャリアプランそして指導体制を提供しています。

また私達の診療科はwork-life balanceを大事にしており、その結果？（私も含めて）子育て中の先生もたくさん在籍して活躍しています。総合診療や家庭医療に興味のある先生方、ぜひ私達と一緒に学んで行きませんか？皆さんのお越しを心からお待ちしています！



三澤 美和 (みさわ みわ)

大阪医科薬科大学 医学部総合診療医学教室 助教  
地域総合医療科学寄附講座  
大阪医科薬科大学病院 総合診療科 医長

日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医

日本専門医機構認定 総合診療専門医

日本糖尿病学会認定 糖尿病専門医

日本内科学会認定 総合内科専門医

大阪医科薬科大学病院総合診療科の三澤です。滋賀県の長浜赤十字病院で初期研修医以来10年以上過ごしたあと、2016年4月当科に赴任しました。早いものでもう9年目に突入します。大学病院における総合診療科は実に多岐にわたる訴え、病態に向き合います。ICUで最重症の状態を管理することもあれば、一般病棟では感染症から不明熱まで多彩な臨床像に出会い、外来では心理社会背景が大きな影響を与えている患者さんとの出会いが続きます。細分化された臓器別の診療では解決できないような健康問題に向き合い、患者さんや家族にとってどうすることが本当に幸せなのか考えていく過程は総合診療医という専門性のやりがいを感じ、とても充実していると毎日感じています。

私が赴任した9年前のことを思えば、本プログラムには多くのレジデントが来てくれ、すでに数人は家庭医療専門医や総合診療専門医を取得しました。こうして地道に後進を育てていけることも楽しく感じます。在籍するレジデントたちは個性豊かで、カンファレンスでの白熱するディスカッションの一方で、いつも医局には笑いが絶えません。

私自身、二人の子供を育てながら仕事を続けさせてもらっており、医局に多くいるママさん医師もパパさん医師も奮闘しています。それぞれの働き方を一緒に考えていける場所でありたいと思っています。プライマリ・ケアはこれからの日本の健康問題を支える大きな柱です。不安もあるかもしれませんが、臓器別ではなく患者さん全体を診たいと思う人、患者さんの家族や背景も大切にしたい診療を目指したい人、医局で一緒にわいわい勉強したい人・・・！敏腕秘書さんたちと医局の仲間が皆さんをお待ちしています。

# STAFF



**橋本 忠幸** (はしもと ただゆき)

大阪医科薬科大学 医学部総合診療医学教室  
地域総合医療科学寄附講座 助教  
大阪医科薬科大学病院 総合診療科 医員

日本内科学会認定 総合内科専門医

日本救急医学会認定 救急科専門医

私は橋本忠幸と申します。2021年に12年ぶりに母校の大阪医科薬科大学に戻ってまいりました。今までは福岡の飯塚病院と和歌山の橋本市民病院で、病棟管理と医学教育を専門としてトレーニングを受け、今もその2つを中心に働いています。病院で働く総合診療医には、病棟の管理も重要なスキルとなります。大学病院ならではの診断が難しい症例の対応だけでなく、マルチモビリティ（多併存疾患）をいかに整理するか、なども日々学ぶことができます。

医学教育に関しては、主に若手指導医育成を中心に研究や育成プログラムの作成や実践などをしております。当科は若いスタッフや専攻医も多く在籍しています。新しい専攻医となる皆さんにも近い指導医となってくれと思います。もちろん鈴木教授をはじめとしたベテラン指導医もいます。ベテランならではの深い指導を十分受けられます！

またアメリカの公衆衛生大学院の修士課程も卒業しているので、研究に興味がある人にもアドバイスはできると思います。医学教育研究もやっているので、医学教育を突き詰めたい方も、是非研究に興味のある方は一緒に研究しましょう。2023年9月からアメリカはボストンにあるハーバード医科大学の連携病院のBrigham and Women's Hospitalに留学しています。こちらでは色んな人に会って研究の相談をしたり、色んな授業に出たりしています。留学に興味のある方がいれば、是非ご相談ください。

## 専門医取得後、他院にて活躍中！



日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医

日本リウマチ学会認定 リウマチ専門医

リウマチ専門医も取得したのち、新天地にて勤務中！

**中垣 孝規** 出身大学/大阪医科薬科大学



日本プライマリ・ケア連合学会認定 家庭医療専門医

当科の医師が短期勤務する医療機関で勤務中！

**藤本 隆一郎** 出身大学/大阪医科薬科大学



日本プライマリ・ケア連合学会認定 家庭医療専門医

開業して街のクリニックで勤務中！

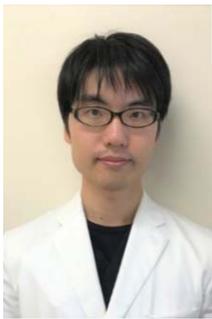
**高山 真弥** 出身大学/兵庫医科大学

# STAFF



大学院生/特命助教 **住友 嗣之** すみとも さねゆき 出身大学/大阪医科薬科大学

2016年に入局いたしました住友嗣之です。大学院にも在籍し、統計解析を学んでいます。大学病院の総合診療科にはいわゆる不定愁訴とされた患者さんをご紹介いただくことがあり、その中には副腎不全が疑われる方がいらっしゃいます。現在副腎不全をテーマにした学位論文の投稿準備中です。外来や病棟、ER当直などの業務もありますが、研究に専念できる時間をもうけていただいているため、心にゆとりをもって研究を進めることができました。個人のニーズに沿った研修、研究が実現できると思います。ぜひお気軽にお問い合わせください。



日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医

大学院生 **関根 一臣** せきね かずおみ 出身大学/大阪医科薬科大学

上級医の指導の賜物で専攻医終了と共に専門医を、翌2020年度には認定指導医を取得できるなど、とても恵まれています。大学院では、理想的な医学教育の在り方を模索する中で、医学生と患者さんとの関わりについての研究を練っています。毎月末にあるリサーチミーティングではZoomなども利用し密を避けつつ白熱した議論を交わすことができ、他の先生の考え方や研究などとてもいい刺激になります。是非、一度遊びに来てください！



日本専門医機構認定 総合診療専門医

特任助教(准) **重留 一貴** しげとめ かずき 出身大学/大阪医科薬科大学

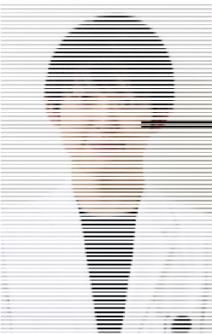
医師9年目の重留です。市中病院で研修後に入局しました。5年目までは1年半大学、1年半高知で地域研修していました。去年で小児科や救急研修も修了して、総合診療専門医試験も無事合格することができました！来年は家庭医の方の専門医試験を受験しようと思っています。医局の雰囲気もよく、教育的にも確実にステップアップできる環境だと思うので見学などいつでも来てください。



日本内科専門医機構 内科専門医

特命助教 **城田 祥吾** しろた しょうご 出身大学/名古屋大学

卒後9年目になりました、城田と申します。縁あって、2024年度からスタッフとして入局しました。神戸で初期研修後、栃木、隠岐の島、京都など様々な場所で内科研修を行った後、昨年度までは神戸市立医療センター中央市民病院の総合内科に在籍していました。私はジェネラリストでも診療の武器にできるエコーの研鑽を積んでおり、一般的な心、腹部エコー、血管エコー以外に関節、筋、神経など、様々な場所をエコーで評価し、穿刺や局所注射を行うことができるようになりました。CTやレントゲンがない場所や、移動が難しい患者など、多くの場面で役立つエコーも使いながら、奥深く幅広い総合診療を学んでいきたいと思います。



日本専門医機構認定 総合診療専門医

特命助教 **磯田 翔** いそだ しょう 出身大学/滋賀医科大学

2021年4月入局しました磯田翔です。診断における思考過程に興味があり、思考過程の言語化と戦略化を通して、より多くの患者さんに貢献することを一つの目標としています。世の中には専門科でも難しい不明〇〇(熱、腹痛、しびれ など)が溢れています。体系だった思考プロセスとそれに基づく情報収集と分析があるからこそ、そういった不明〇〇に対応できると思います。診断が中々つかず病気が進行し、患者さんも自身も苦しいこともあります。でも諦めず真摯に向き合うことで、診断が付き治療に結びつき救われる命も多くありやりがいを感じます。また、診断や治療という医学的側面だけでなく患者さんの思いなどの心理的側面、ご家族や周囲の環境といった社会的側面にも焦点を当ててカンファレンスでディスカッションするところも当医局の一つの特徴だと思います。皆優しく懐が深く居心地が良い医局で診断学を学び、考える楽しさ・診断し治療に結びつける喜びを一緒に味わいませんか？



特命助教/専攻医 **川口 洋平** 出身大学/福井大学

医師8年目の川口洋平です。  
大阪医科薬科大学総合診療科で地域医療や訪問診療、診断学と幅広く学ばせていただいています。現在も大学病院、中規模病院、クリニックとそれぞれ違った場所での診療をさせていただいており、充実し過ぎるくらいの医師生活を送っております。  
少しでも総合診療に興味があれば是非一度見学に来てください。お待ちしております。



レジデント/専攻医 **鄧 艶麗** 出身大学/中国ハルビン医科大学

出身 中国ハルビン医科大学 2020年4月に入局した鄧艶麗です。2024年4月1日から高知県の本山町立国保嶺北中央病院で半年間勤務することになりました（今回で3回目となります）。高知県本山町は自然が豊かな観光地で、日本で一番美しい村と言われています。地域の皆さんが（病院のスタッフも患者さんも）優しく、暖かい方々です。患者さんの多くは高齢者であり、高齢者を診る経験を大事にしたいと思っています。小児から高齢者まで幅広く診察できる総合診療医になれるように頑張っています。ぜひ、いっしょにがんばりましょう。



特命助教/専攻医 **水谷 肇** 出身大学/大阪市立大学

2020年入局の水谷肇です。当科はcomplexでrareな大学病院らしい患者さんを診察する一方、ERからは毎日のようにcommonな疾患による入院があり、あらゆるベクトルの疾患をバランス良く診られるという特徴があります。また今年度はたくさんの入局者があり、学生さんも全員がローテーションで医局の賑やかさも随一と思います！みんなでわいわい楽しく仕事したい方、ぜひ一度見学においでください！



レジデント/専攻医 **水野 律子** 出身大学/大阪医科薬科大学

私は医学部卒業後、他の市中病院で2年間の初期研修を終え、母校である大阪医科薬科大学総合診療科の専攻医として2023年度入局しました。一度別の学部を卒業し社会人として勤務していましたが、医学部を再受験し医師へ転職しました。私だけでなく、色々な背景をもつ個性豊かなメンバーが協力し合って診療にあたり、多様な観点で臨床上の問題に取り組んでいます。また、私は2人の子どもを持つ母でもあり、仕事と育児の両立に日々奮闘しています。まだまだ小さくて手がかかりますが、チーム体制が整っていることと、先生方の深いご理解のおかげで本当に充実したワークライフバランスを保つことができているので、ぜひ一度見学に来ていただき、この熱心で楽しい雰囲気を感じてほしいです。お待ちしております！



特命助教/専攻医 **中西 篤史** 出身大学/防衛医科大学

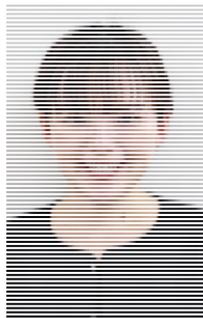
日本産婦人科学専門医

2024年4月から大阪医科薬科大学総合診療科に専攻医として入局いたしました、中西篤史と申します。2007年に卒業し、今年で医師として17年目になりました。これまでは産婦人科医として、主に周産期医療に取り組んできましたが、一念発起しジェネラリストを目指すことにしました。もともとジェネラリストには関心があり、小児科なら全身を診ることができると考え小児科を志望しましたが、病院実習で分娩の素晴らしさに魅せられ周産期の世界に飛び込みました。周産期医療をやりにくくしたわけではありませんが、この年齢になりもう一つの夢であるジェネラリストを目指すなら最後のチャンスと思い、ダメもとで鈴木先生の教室の門を叩いたところ、受け入れていただけることになり大変感謝しております。目の前の患者さん、「あなたの専門家」であり続けられるよう、日々努力していく所存ですので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしく願いいたします。



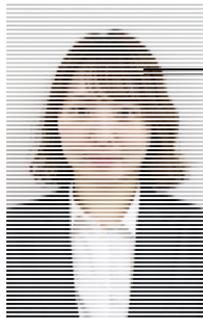
レジデント/専攻医 **大村 祐希** 出身大学/大阪医科薬科大学

私は大阪医科薬科大学を卒業後、同院で初期研修を終了し、そのまま総合診療科に入局しました。学生の頃より医局にはお世話になっており、その居心地の良い雰囲気が好きでそのまま残ってしまいました。私は昔から患者さんの抱える「不安」を少しでも減らしてあげられるような医師になりたいと思っていました。総合診療科は患者さんの「疾患」中心ではなく「訴え」中心にアプローチすることができる診療科だと思い、自分の理想を実現できる科だと考えています。総合診療科というと浅く広くのイメージがあるかもしれませんが、ここでは総合診療科の深みである「専門性」も身に付けることができていると思っています。興味がある方は是非見学にお越しください。一緒に総合診療専門医を目指しませんか？



レジデント/専攻医 **大森 麻由** 出身大学/近畿大学

総合診療科では、診断のついていない初診患者さんや初期の救急患者さんの診療にあたっています。身体の中の臓器の問題なのか明らかでない場合や多彩な症状などで受診する診療科が明らかでない患者さんを、総合的に診療して、必要に応じて院内専門科をご紹介したり、継続して総合診療科で診療もしています。単一臓器を主体に診るより「その人」全体を診て、様々な症状に対応できる総合的な診療能力を身に付けたいと思い、入局しました。また、ワークライフバランスにも配慮してもらえ、サポート環境があることも入局の決め手となりました。マンツーマンの指導医による丁寧なレビュー、チームメンバーの協力体制で、相談をしながら診療を進めており、医局の雰囲気はとても良いです。鈴木教授をはじめとし、ベテラン秘書の方がおられ、気さくで親しみやすい先生ばかりなので、一度その雰囲気を見に来てください。一緒に仕事ができる日が来てくれれば嬉しいです。



レジデント/専攻医 **清水 理央** 出身大学/福井大学

2024年4月に入局した清水です。福井大学を卒業後市中病院で初期研修を行い、3年目の春から大阪医科薬科大学病院総合診療科に飛び込みました。慣れない環境下ではありますが医局の先生方、秘書さんの助けを大いに借りて日々精進しています。毎日の回診では身体診察が鍛えられますし、カンファレンスも毎日密にあるため自分の症例についても逐一相談しやすい環境です。また多種多様な疾患の入院患者さんがいて新しい学びが沢山あります。他科とのやり取りなど大変なことも多いですがやりがいのある日々だと実感しています。総合診療医を目指す皆様、是非一度見学にいらしてください！お待ちしております。



レジデント/専攻医 **西村 壮太** 出身大学/兵庫医科大学

医師6年目の西村壮太です。初期研修終了後、救急科での3年間の研修を経て、2024年度に入局しました。疾患や重症度によらずその急性期治療を行う救急医と、あらゆる患者の問題に向き合う総合診療医、オーバーラップをするところもあると思いますが、総合診療における臨床推論を中心に研鑽したく入局しました。このようにダブルボード取得等、様々なキャリアプランに対応していただけます。是非一度見学に来ていただけたらと思います。



レジデント/専攻医 **松下 武史** 出身大学/大阪医科薬科大学

専攻医1年目の松下武史です。大阪医科薬科大学を卒業し市中病院で2年間初期研修した後、2024年に入局しました。大学病院ならではの難診断症例、多プロブレム症例など、病棟マネジメントに四苦八苦しながら日々学ばせていただいております。ただ、明るく指導熱心な医局の先生方のもとで、専攻医として患者さんに相応の責任感を持ちつつ、疑問点を遠慮なくディスカッションさせていただき、毎月ローテされる研修医や医学生の先生方と横一線で頑張っています。凄腕の秘書さんに見守られ、学び溢れ！笑い声絶えず！患者ファースト&ワークライフバランスもファーストな、魅力的な医局の雰囲気を体感しませんか？是非一度見学にお越しください！お待ちしております。



レジデント/専攻医 **松村 竜也** 出身大学/兵庫医科大学

2024年4月に入局しました松村です。出身は兵庫医科大学で、初期研修を大阪医科薬科大学病院で行いました。3年目から救急当直や一般外来、病棟業務など担当させていただき、もちろん大変なことも多い毎日ですが、その分やりがいを感じています。当院の総合診療科は大学でありながら、慢性期や急性期の疾患、老若男女問わず数多くの症例を経験でき、学ぶことも多いです。診察や回診の際にはチームで回り、指導医からすぐにフィードバックをいただくことができます。医局内には様々なバックグラウンドを持った方がおられますが、仕事だけでなく仕事外でも和気藹々とした雰囲気です。是非いつでも遊びにきてくださいね。

# 3つの特徴

病歴と身体診察を基本とし、  
患者の思いに応えられる  
本物の総合診療能力を獲得

院内から全国に広がる  
濃密なネットワークを駆使し、  
多彩なキャリアパスを支援

プロフェッショナルとしての  
生涯に渡る成長と学びの方略を確立

# 研修プログラムについて

病歴と身体診察を基本とし、患者の思いに応えられる本物の総合診療能力を獲得

- カンファレンスやレクチャーにて臨床推論の王道を研鑽
- ジェネラリストのロールモデルの診療科長による直接指導
- ベットサイド教育を通じた的確な診察手技をマスター
- 丁寧なフィードバックにて学びを得る外来・病棟研修
- 最後の砦の大学病院総合診療科医としての粘り強い診療姿勢



院内から全国に広がる濃密なネットワークを駆使し、多彩なキャリアパスを支援



- 診療所から第一線病院までの指導体制の充実した協力施設群
- 大阪医大での専門各科の柔軟で熱意溢れる全面的サポート体制
- 小児から高齢者、救急から在宅・緩和ケアまでの幅広い研修機会
- 卒前卒後の医学教育への参加機会や留学および教員への道もあり
- ワーク ライフ バランスを第一に女性のキャリアも最大支援

プロフェッショナルとしての生涯に渡る成長と学びの方略を確立

- 定期的な振り返りにより到達地点を確認し次の目標を設定
- ストレスフルな問題に対するSEA (significant event analysis)
- ジレンマや悩みも気軽に相談できる指導医と医局の雰囲気
- 成長の証のポートフォリオ記述に関する明快で詳細な指導
- 生涯にわたり成長する省察的实践者としての個人をサポート



常に目の前の患者に真摯に対応し最善の選択ができる

あなたの専門家

になるために

# 研修プログラムの一例

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年目		<p style="text-align: center;">総合診療Ⅱ/家庭医療Ⅱ 大阪医科薬科大学病院総合診療科</p>											
2年目		<p style="text-align: center;">必須内科 洛和会丸太町病院</p>						<p style="text-align: center;">必須救急科 市立ひらかた病院</p>			<p style="text-align: center;">必須小児科 市立ひらかた病院</p>		
3年目	総合診療専門医 だけの場合	<p style="text-align: center;">総合診療Ⅰ/家庭医療Ⅰ 本山町立嶺北中央病院</p>						<p style="text-align: center;">その他選択可能</p>					
	家庭医療専門医 連動の場合	<p style="text-align: center;">総合診療Ⅰ/家庭医療Ⅰ おく内科・在宅クリニック</p>											

## 総合診療専門研修

<p><b>総合診療Ⅰ</b> 密接に関連した診療所もしくは小病院で Commonな症例を豊富に経験</p>	<p>松本ほがらかクリニック、公立神崎総合病院、 本山町立国保嶺北中央病院、川村会くぼかわ病院、 米原市地域包括医療福祉センター、大井田病院、 おく内科・在宅クリニック、葛西医院</p>
<p><b>総合診療Ⅱ</b> 研修の中心となる大学病院総合診療科で ジェネラリストとしての根幹を確立</p>	<p>大阪医科薬科大学病院総合診療科、市立奈良病院、 沖縄県立北部病院、大阪警察病院</p>
<p><b>必須内科</b> 大学病院専門内科での充実した指導体制下で 豊富な症例を研鑽</p>	<p>大阪医科薬科大学病院専門内科各科、天の川病院、 洛和会丸太町病院、公立神崎総合病院、 市立ひらかた病院、高槻赤十字病院、 川村会くぼかわ病院、金井病院、大井田病院</p>
<p><b>必須救急科</b> 一次から三次まであらゆる症例に対応できる 救急診療能力を育成</p>	<p>大阪医科薬科大学病院救命救急センター、 市立ひらかた病院、市立奈良病院、 高槻赤十字病院、高槻病院</p>
<p><b>必須小児科</b> 外来から入院症例まで多彩な症例を経験</p>	<p>大阪医科薬科大学病院小児科、洛和会音羽病院、 市立ひらかた病院、市立奈良病院、 公立神崎総合病院、高槻赤十字病院、高槻病院</p>
<p><b>領域別研修</b> レジデントの希望に応じて柔軟な選択が可能</p>	<p>大阪医科薬科大学病院専門各科、 しもむら内科クリニック、 かとう内科並木通り診療所</p>

## 家庭医療専門研修

<p><b>家庭医療Ⅰ</b> 密接に関連した診療所もしくは小病院で Commonな症例を豊富に経験</p>	<p>松本ほがらかクリニック、公立神崎総合病院、 本山町立国保嶺北中央病院、川村会くぼかわ病院、 米原市地域包括医療福祉センター、 おく内科・在宅クリニック、葛西医院</p>
<p><b>家庭医療Ⅱ</b> 研修の中心となる大学病院総合診療科で ジェネラリストとしての根幹を確立</p>	<p>大阪医科薬科大学病院総合診療科、市立奈良病院、 沖縄県立北部病院</p>

研修場所に関わらず、3年間を通して定期的な振り返りセッションを継続  
より良い学びの場を求めて、現在さらに研修協力施設を全国的に拡大中

# カンファレンス・勉強会

## 専攻医と 研修医のための レクチャー

火（隔週）  
8時～8時半

医師として必要な心構えと、  
総合診療に必要な知識を、  
コンパクトに凝縮した濃厚な時間です



## ベットサイド ティーチング

火・金  
15時～17時

診療科長の鈴木が研修医や専攻医と共に、  
入院中の患者に対して一人一人時間をかけて  
回診します。ベットサイドティーチングの神髄が  
ここに 있습니다。



## 入院 カンファレンス

月  
15時半～17時

研修医や専攻医が受け持ちの入院症例を  
プレゼンテーションした後、参加者全員で  
ディスカッションをして議論を深めます。  
診断困難例や治療方針が立ちにくい症例を  
共有して方向付けをする重要なカンファレンスです。



## 救急・外来 カンファレンス

木  
15時半～17時

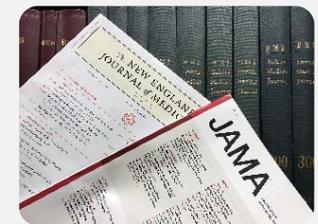
救急当直や外来での興味深い症例の共有や、  
治療方針の決定の相談など、何でも気軽に  
議論のできる場です。  
たくさんのクリニカルパールが示される  
大変有意義なカンファレンスです。



## 抄読会

火（隔週）  
8時～8時半

専攻医が持ち回りで、それぞれの興味に応じて、  
総合診療・家庭医療に関する英文論文を読み込み、  
簡単な資料を作成して皆で論文からの学びを  
共有します。



## レジデントデイ

ある土  
午前  
(月に1回)

専攻医が持ち回りで、専門医取得に必要な  
書式でポートフォリオを作成し、指導医の下で  
文献などを調べ、理論的背景を深めながら、  
皆で学びの振り返りを行っています。  
この時間は、キャリアを確実に積み上げていく上で  
欠かすことのできない「メタ認知」を行う  
絶好の機会となっています。



## 漢方レクチャー

木  
(月に一度)

日本プライマリ・ケア学会指導医で  
日本東洋医学会漢方専門医でもある漢方の達人、  
下村先生による非常にわかりやすい漢方レクチャー。  
証を見極め適切な手を打つ。必見の講義です。



# 大阪医科薬科大学病院 総合診療科



まずはお気軽に  
お問い合わせください。

## レジデント募集要項

応募資格	1.医師免許を有している者 2.2025年3月までに臨床研修を修了している者、または修了見込みの者 3.臨床研修修了後5年を経過していない者
研修開始日	2025年 4月 1日 但し、応募者の都合により研修開始日の変更は可能
試験日	第1回目 2024年9月21日(土) 第2回目 2024年12月7日(土)※ 第3回目 2025年1月18日(土)※ (※第2回・第3回は募集定員に空きがある場合のみ実施)
選考方法	面接試験
出願期間	第1回目 2024年 7月29日(月)~2024年 9月 4日(水)必着 第2回目 2024年 9月25日(水)~2024年10月25日(金)必着※ 第3回目 2024年12月 9日(月)~2025年 1月10日(金)必着※ (※第2回・第3回は募集定員に空きがある場合のみ実施)
問い合わせ先	大阪医科薬科大学病院 総合診療科 gmd@ompu.ac.jp

※総合診療専門医研修を行うためには、上記の申込と共に日本専門医機構が定める専攻医登録システムへの登録が必要です。詳細は、日本専門医機構のホームページをご覧ください。